



特定非営利活動法人

## 神戸日独協会会報

BERICHTE DER NPO JAPANISCH-DEUTSCHEN GESELLSCHAFT KOBE

Nr. 395

Juni 2024

特定非営利活動法人 神戸日独協会  
〒651-0085 神戸市中央区八幡通2-1-20  
神戸リガッタ・アンド・アスレチック倶楽部1F  
TEL/FAX 078-230-8150  
E-mail: [info@jdg-kobe.org](mailto:info@jdg-kobe.org)  
URL <https://www.jdg-kobe.org/>

NPO JAPANISCH-DEUTSCHE  
GESELLSCHAFT KOBE  
Bei Kobe Regatta & Athletic Club  
In Isogami-Park Hachiman-Dori 2-1-20  
Chuo-ku Kobe, Japan 〒651-0085

神戸日独協会主催



# ビアフェスト2024



ビールジョッキを高々と、プロースト！  
隣の人と腕を組んでシュンケルンしながら、ドイツのビアソングを！  
ドイツヴルストを味わいながら、プロースト！

神戸日独協会は、好評をいただいてきた恒例の行事「ビアフェスト」を開催します。今年も猛暑が予想されています。冷たいビールとビアソングで猛暑を乗り越えましょう。  
ご家族と一緒に、親しい友とともにビールを飲みながら、ビアソングを楽しみながら、楽しい一夜を過ごしましょう！お誘いあわせの上、ご参加をお待ちしています。

ドイツビアソング：アコーディオン演奏 平野 新祐さん、歌 岩島 佳子さん

日時：2024年8月3日(土)17:00～19:30

会場：ステーキ&ビアレストラン「ロイン三宮店」(神戸国際会館南前のビル地下1階)  
神戸市中央区磯上通8-1-19 カーサグランデ神戸ビルB1、078-242-3611

チケット：6500円(会員および同伴者 6000円)(同伴小・中学生 2500円)  
(料理・飲み放題込み 着席buffet形式)

★当日はチケットがないと会場に入場できませんので、前もって必ずチケットをご購入ください。

定員：60名(定員になり次第締切り)

申込：チケットのお求めは、同封の払込用紙にご希望の枚数とお名前を記入の上、  
ご入金ください。

チケットは、当日会場にてお渡しします。協会でもチケットを販売します。

チケットの払い戻しはいたしませんので、ご了承ください。



# Bierfest 2024

Ein Prosit, ein Prosit der Gemütlichkeit !  
Eins, zwei, drei, g'suffa !  
Prost !



Anfang August veranstaltet die Japanisch-Deutsche Gesellschaft Kobe wieder ein „Bierfest 2024“ mit Musik (auch zum Mitsingen!).

◇Akkordeonist Herr Shinsuke Hirano und Singerin Frau Yoshiko Iwashima.

◇Datum : 3. August 2024 (Sam.) 17:00 — 19:30

◇Ort: Bierrestaurant „Roin“ in Sannomiya, Kobe

Casa Grande Kobe Building B1 F (Südlich vom Kobe International House)  
(Isogami-Dori 8-1-19, Kobe-Chuoku)

◇Kosten: 6500 Yen ( Mitglieder und Begleitung 6000 Yen)

## ドイツ語講座・ドイツ文化教室2024年度第Ⅱ期開講

7月1日(月)よりドイツ語講座・ドイツ文化教室の2024年度第Ⅱ期が開講します。

ドイツ語圏への旅行・留学を計画されている方、ドイツ語圏からの来訪者と交流しようとしている方、ドイツ語の楽しみをさらに充実させようとしている方、この夏は神戸日独協会でドイツ語学習を、ドイツ語のブラッシュアップをしませんか。

ドイツ語講座の各種クラスは、ヨーロッパで通用する「EU言語標準」としてのドイツ語の習得を目的としています。「EU言語標準」としてのドイツ語の教授経験が豊富な講師陣が講座を通じて「今のドイツ」へとお誘いします。

「ドイツをはじめとするヨーロッパで今何が起きているのか」、「今の日本をドイツはどのように見ているのか」を知りたい方、ドイツ文学の名作をじっくりと読んでみたい方には「講読クラス」がお勧めです。

ドイツ語講座の多くのクラスは前期からの継続クラスですが、途中からの受講は可能です。各クラスの内容については、同封の案内チラシをご覧ください。

今年も暑い夏が予想されていますが、猛暑に負けずに「ドイツ体験」をしてみましよう。

## 横浜日独協会との交流会

日時 : 2024年7月2日(火) 18:30~

会場 : ステーキ&ビアレストラン「ロイン三宮店」

会費 : 5000円

申込 : 7月1日(月)までにメール・電話・FAXで

## 行事報告

### 大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事館開設150周年記念講演会

## 「神戸での日独交流 ～ 現状と将来展望」

大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事館開設150周年記念講演会と祝賀会が6月23日に神戸リガッタ・アンド・アスレチック倶楽部ホールにて開催されました。講演会は枘田義一神戸日独協会会長による主催者挨拶、メラニー・ザクシンガー大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事のご挨拶で始まり、

その後総領事館提供の開設150周年記念冊子「未来に続く物語 ドイツ総領事館の150年 Eine Geschichte mit Zukunft 150 Jahre Deutsches Generalkonsulat Osaka-Kobe」等の資料を基に枘田会長による神戸における「ドイツ総領事館の略史」が説明されました。引き続き、本講演会のメインテーマである「神戸での日独交流 ～ 現状と将来展望」についての各講演がなされました。

神戸を基盤としたドイツとの交流を日独双方の側から、ドイツ総領事ザクシンガー氏にドイツ側から見た「神戸における日独交流の現状と展望」を、関西学院大学学長特別顧問であり元駐ドイツ大使の神余隆博氏には日本側から見た「神戸における日独交流の現状と展望」を、神戸市会自民党議員団政務調査員であり元在ハンブルク総領事の小坂節雄神戸日独協会副会長には「神戸における日独産業・経済交流の現状と展望」についてご講演いただきました。各講演とも30分以上にわたる極めて示唆に富み滋味にあふれたご講演でした。

講演会に引き続き祝賀会が開催されました。祝賀会には久元喜造神戸市長と片山安孝兵庫県副知事をご参加くださり、ご祝辞をいただきました。

講演会と祝賀会とも60名を超える参加者で、特に祝賀会では総領事とご来賓を囲み、参加者同士での活発な懇談が行われ、非常に和気あいあいと活気ある会でした。この会での活気をもってコロナ禍等で停滞気味であった神戸での国際交流、日独交流が活性化されることが予感される会でした。

この会に講演をしてくださったザクシンガー氏、神余氏、小坂氏、また準備と当日の運営に当たってくださった協会の方々には心からお礼を申し上げます。

この会の運営に当たっては会報にて「開催基金」を会員の皆様にお願ひしましたところ、次の方々からご寄金をいただきました。開催補助金、講演会冊子作成費等として有意義に使用させていただきます。ありがとうございました(敬称は略させていただきます)。

シスメックス株式会社(5)、TOA株式会社(3)、株式会社ロック・フィールド(1)、  
枘田義一(3)、赤松加奈子(2)、枘田節子(2)、松浦庸夫(2)、井川伸子(1)、  
尾辺和也(1)、川見正之(1)、岸田貴子(1)、日下部昇(1)、日下部管子(1)、久利将輝(1)、  
神原 修(1)、多木和重(1)、シュテファン トルンマー・フカダ(1)、中島英樹(1)、  
仲谷友花(1)、沼田宏明(1)、藤木尚子(1)、松下芳春(1)、宮本真理子(1)  
田代徹男(参加非会員 2)

( )は寄付口数、1口1万円 (2024.6.27現在)

# 大阪・神戸ドイツ総領事館開設150周年記念講演会に参加して

会員 松浦 庸夫

去る6月23日(日)神戸リガッタ・アンド・アスレチック倶楽部ホールで、標記の記念講演会および祝賀会が開催されました。当日は悪天候にもかかわらず、来賓の大阪・神戸ドイツ総領事メラニー・ザクシンガー氏はじめ、会場一杯の60名が参加する盛会でした。

定刻にトルーマー常務理事の司会で、まず、独日両国歌の演奏があり、枘田会長の主催者挨拶およびザクシンガー総領事のドイツ総領事館と特に神戸との長い、また深い関係を述べた挨拶で講演会が始まりました。

## ・ドイツ総領事館略史

枘田義一氏 神戸日独協会会長

### 第一期:居留地内移転の時代(1868～)

1868年(明治元年)兵庫開港後外国人に居留地が4回に渡って競売され、ドイツ人は126区画のうち25区画を購入。ドイツ人の商業活動の活発化とともに領事の必要性が高まり、1874年(明治7年)居留地内に領事館が設置され、その後業務の増大につれ居留地内を数回移転した。

### 第二期:ドイツ政府による領事館設置の時代(1901～)

領事館業務の増大に伴い、1901年ドイツ政府により旧居留地内に領事館が新設された。以降、40年余り存続したが、1945年6月5日神戸大空襲で焼失。名称は「神戸ドイツ帝国領事館」と変更されていた。

### 第三期:全西日本管轄としての時代(1922～)

1914年8月23日ドイツに対する日本の宣戦布告により領事館を閉鎖。第一次世界大戦後1922年にドイツ領事館が再開。長崎および下関領事館は廃止され、ドイツ総領事館に昇格。1930年大阪に独立の領事館が設立されたが、1934年両領事館が併合され、神戸に「大阪・神戸総領事館」が設立。西日本での日独交流の中心であった。1945年5月8日のドイツ降伏とともに総領事館はその存在資格を消失。1953年5月18日総領事館は、神戸商工会議所に開設される。1956年新築の神戸国際会館(旧)に移転。

### 第四期:大阪移転以降の時代(1997～)

1995年1月17日の阪神大震災により領事館は破壊。総領事館業務は一時的に神戸ドイツ学院にて。同年7月ドイツ政府により大阪への移転が決定。1997年10月23日大阪梅田スカイビルに移転。

余談: 有名女優 原節子が1937年(昭和12年)ベルリンで日独合作映画「新しき土地」(Tochter von Samurai)の舞台挨拶のため、シベリア鉄道でドイツを訪問した。その時、ベルリンで原節子の世話をした日本語の良く話せるドイツ女性がいた。彼女は神戸でドイツ商人の娘として生まれ、ドイツ学院で学び、18歳でベルリンに帰った。筆者松浦は、1962年会社より命ぜられ、デュッセルドルフで駐在員として、新事務所の開設を行ったが、その時、秘書として松浦を助けてくれたのが彼女であった。

彼女は、常に自分の育った戦前の神戸を非常に懐かしんでいた。ドイツ語がまだ話せなかった松浦は、日本語のできる秘書がいて、非常に助かった。彼女は、ちなみに明治生まれであった。

#### ・ 神戸における独日交流の現状と展望

メラニー・ザクシンガー氏 大阪・神戸ドイツ総領事

ドイツと神戸の交流は、日独関係に匹敵しうるほど古く、近年さらに緊密で活発なものとなっている。日独は共に、自由・民主主義・多元主義の価値観を共有するパートナーであり、人権基準は国際的に普遍的なものであると確信している。

ビジネスとイノベーションの中心地として、神戸はドイツにとってさらに重要で魅力的な都市になっており、特に医療技術やバイオ医療の分野では高い水準にあり、ドイツの関係者は興味を持って注目している。

また、革新的な水素技術にドイツは高い関心を持っている。

神戸市とハンブルク市とのライフサイエンスと水素分野での協力協定や、兵庫県とシュレスヴィヒ・ホルシュタイン州との積極的なパートナーシップは、神戸とドイツの緊密な協力関係を示すものであり、将来楽しみである。

2025年の大阪EXPOでは、ドイツは循環型経済をテーマにパビリオンを出展する予定で、それを機会に持続可能性と再生可能エネルギー分野における神戸との協力を期待している。

日独両国は、互いに信頼できる政治的・経済的パートナーとして、互いに高く評価しているので、将来に渡ってそれぞれの世代においてそれを更新し、特にドイツと神戸との良好な関係をさらに発展していくことを望んでいる。

#### ・ 神戸における日独交流の現状と展望

神余隆博氏 関西学院大学学長特別顧問、元駐ドイツ大使

震災から約30年、神戸は復活したが、人口流出と企業の東京移転が最大の課題である。

大阪市と地理的に近いことから、文化活動や経済活動で大阪に劣っていて、これの克服が必要である。新しい文化や技術、イノベーション、ライフスタイルを取り入れ、大阪を抜いて先進都市への進化が求められる。思い切った規制緩和を進め、特区の設立等を行い、外国企業や国際機関の集積で真の国際都市化が強く望まれる。

ドイツとの交流では、ドイツ企業の誘致や神戸企業のドイツへの進出が必要であり、そのためには、ドイツの都市との姉妹都市提携が一つの手段であろう。兵庫県・神戸市とシュレスヴィヒ・ホルシュタイン州・ハンブルク市との重層的提携関係の構築が望まれる。

GDPで日本を再び追い越したドイツとの交流は、日本全体にとっても大切で、環境・エネルギー・都市インフラ・医療等で、先進的なドイツの都市と提携を深めることは、神戸をコンパクトでスマートな未来の大都市とするために必要である。

余談： 関西学院大学では、学院発祥の地である神戸原田の森、すなわち、現在の王子公園王子スポーツセンターに、再び原田の森キャンパスを持つべく準備を進めています。そうなれば、神戸日独協会との関係もさらに深まるものと期待しています。

## ・ 神戸における日独産業・経済交流の現状と展望

小坂節雄氏 神戸日独協会副会長、元ハンブルク総領事

日独の企業は、もちろん競争相手ではあるが、同時に世界で最も優れたパートナーとなり得る。わかりやすい例は、オリンパスの内視鏡である。オリンパスは手術用アームを開発していたハンブルクの中小企業を買収し、その結果、手術が可能な内視鏡の制作に成功し、今や世界最大の内視鏡メーカーになっている。

現在のエネルギー部門の最大関心事は、炭素フリーの経済社会を作ることである。その先頭に位置するのがドイツで、オフショア風力発電技術で、ハンブルクがエネルギー転換の中心にいる。他方、日本では、水素やアンモニアを利用した炭素フリー社会建設の研究が進んでいる。この両者が協力して、排ガスゼロの達成を図るのは、これからの重要な一方策と考える。兵庫県・神戸市の企業の参入が望まれる。

講演会に引き続いて、尾辺専務理事の司会で祝賀会が盛大に行われました。赤松副会長の開会挨拶、来賓各氏の祝辞の後、柘田会長の乾杯発声により祝賀会が始まりました。食事はヴィッフェ・スタイルで、「ステーキ&ビアレストラン ロイン三宮店」の国産牛ローストビーフをメイン料理とする立派なもので、皆様ご満足の様子でした。

祝賀会の中で、当会ドイツ歌声サロンの皆様の「喚喜の歌」(An die Freude)の斉唱があり、多くの方々がこれに唱和され、会は盛り上がりました。

なお、本講演会に参加の皆様、大阪・神戸ドイツ総領事館が作成された小冊子「未来に続く物語 ドイツ総領事館」が手渡されました。150年の歴史をマンガを用いて、64ページにまとめたもので、非常に興味深く手軽に見られて、立派な作りになっています。

総領事はじめご関係の皆様、心より感謝いたします。

最後に、本講演会・祝賀会の計画・準備・進行をいただいた柘田会長はじめご関係の皆様、心より御礼申し上げます。

## 会員の広場

このコーナーは、会報を通して会員相互の交流をしていただくための「広場」です。投稿をお待ちしています。今月は休載です。

投稿規定 : 1000字程度(字数を厳守)

MSPゴシック12ポイントの添付データ(ワード)にて毎月第4月曜までにメール

## ドイツ歌声サロン

この会は、ドイツ歌曲・オペラの名曲、ドイツの流行歌やドイツ映画音楽、ビアソングのみならずドイツの家庭や集会で広く歌われ、日本でも親しみ歌い継がれてきたドイツの愛唱歌をも採り上げています。3ヶ月でドイツ語での歌3曲をマスターします。

6月と7月は、引き続き In München steht ein Hofbräuhaus(ミュンヘンにはホーフブローイハウスがある)、Muß i denn(別れの歌)、An die Freude(歓喜の歌、ベートーヴェン交響曲第9番第4楽章で歌われる第一主題)を歌います。

講師：岩島 佳子さん

日時：2024年 7月6日(土) 13:30~15:00

場所：神戸リガッタ・アンド・アスレチック倶楽部教室

参加費：2000円

参加条件：会員以外にも多くの方のご参加をお待ちしています。

ドイツ語の歌を主として歌いますが、ドイツ語が初めての方もぜひご参加ください。

申込先	メール	<a href="mailto:info@jdg-kobe.org">info@jdg-kobe.org</a>	TEL	078-230-8150(月~金14~17:00)
-----	-----	--	-----	---------------------------

### ハントアルバイトの会(ポーセラーツ)

昨秋より手仕事による製品作りのお好きな方の「会員サークル ハントアルバイトの会」が活動しています。カルチャー教室などでビーズ&ジュエリー刺繍やポーセラーツ等を学ぶ「ぶどうの木」を主宰している堀田真美子さんを講師としてお招きして、初めて参加の方はマグカップや小皿に、継続参加の方は希望の食器に希望の絵柄で製作します。自分のデザインによる食器作りを楽しみましょう。ご参加をお待ちしています。

講師：堀田真美子さん

日時：4月28日(日)14:00~16:00

場所：神戸日独協会

会費：初心者1000円、継続者3000円(材料費+窯焼き代+道具使用料)

参加条件：会員以外にも多くの方のご参加をお待ちしています。

申込先	メール	<a href="mailto:info@jdg-kobe.org">info@jdg-kobe.org</a>	TEL	078-230-8150(月~金14~17:00)
-----	-----	--	-----	---------------------------

### 第235回 ドイツ語談話室

日時：2024年5月18日(土)14:00~16:00

場所：神戸日独協会

テーマ：人口問題

今回の司会は原田耕作氏が担当し、いま日本では少子高齢化とそれに伴う生産人口の減少が大きな問題となっている事を話した。日本では総人口が2008年を境に減少し始め、年々減少が続いている。一方、世界中を見ると、インド、中国、アフリカ諸国では反対に人口爆発が起きていて、例えば、インドでは1950年に3.5億だった人口が70年後の2021年には、約4倍の14億人となっている。

以下に、参加者の皆さんの発言を一部紹介する。

- ある統計によると、地球上の人口は2100年ごろに100億人でピークを迎え、その後徐々に減少に転じるそうだ。
- 日本では若い女子の人口も少なくなってきた、女子だけの私立学校の運営が難しくなってきた、男女共学の学校に替わってゆく傾向が出てきている。
- 家族単位の人数も少なくなってきた、近隣との良い付き合いがますます大切になってくる。
- 多くの事業で、後継者の不足問題が起きている。特に農業関係では、日本だけでなく世界中で大きな問題になっている。
- 人口の減少の結果、限界集落問題が増えてきている。中には水道の公共設備が十分整えられず、各家庭に水を配達しているケースも出てきている。
- 地方で、多くの集落の人口が減少してきているのに、必要もない立派な道路の建設が進められていて、多くの無駄がなされている。
- 新しい動きとして、一方では、瀬戸内海の島々で芸術家をはじめ、外国人を含めた多くの人たちが創作活動をするのに定住を始めているところがある。
- 江戸時代の日本の人口は3000万人台で安定していたが、明治時代になって軍国主義が台頭して、産めよ増やせよのスローガンのもと、急激に人口が増えた。
- 東京は肥大化して問題ばかりが増えてきている。東京には今の半分の企業で十分であり、半分は移転させる必要がある。対策として、東京の企業の税金を大幅に上げて、地方への移転を促すことが必要だ。

### 今後のドイツ語談話室の予定

第237回 2024年7月20日(土) 14~16:00 テーマ : 休暇をどのように過ごしたいか

## Protokoll der 235. Deutschen Gesprächsrunde

Zeit: Samstag, 18. Mai 2024, 14 bis 16 Uhr

Thema: Bevölkerungsfragen

Dieses Mal hatte Herr Kosaku Harada die Gesprächsleitung und erzählte, dass in Japan die sinkende Geburtenrate und die alternde Bevölkerung sowie der damit einhergehende Rückgang der Erwerbsbevölkerung zu großen Problemen werden. Japans Gesamtbevölkerung begann im Jahr 2008 zu sinken und nimmt von Jahr zu Jahr weiter ab. Wenn man sich hingegen auf der ganzen Welt umsieht, erleben Indien, China und afrikanische Länder Bevölkerungsexplosionen. In Indien beispielsweise betrug die Bevölkerungszahl im Jahr 1950, 350 Millionen, aber im Jahr 2021, 70 Jahre später, war die Zahl auf das etwa Vierfache, nämlich 1.4 Milliarden, angewachsen.

Hier einige der Wortmeldungen zum Thema:

- Einigen Statistiken zufolge wird die Erdbevölkerung um das Jahr 2100 ihren Höhepunkt bei 10 Milliarden erreichen und dann allmählich zurückgehen.
- In Japan nimmt die Zahl junger Mädchen derart ab, dass die bisher häufigen Privatschulen für Mädchen ihren Betrieb nur schwer aufrechterhalten können. Das führte zu einem Trend zu Koedukation.

- Da die Zahl der Personen pro Familie abnimmt, werden gute Beziehungen zu den Nachbarn noch wichtiger.
- Viele Familien-Unternehmen stehen vor dem Problem, dass Nachfolger fehlen. Insbesondere betrifft dies landwirtschaftsbezogene Betriebe. Das schafft Probleme nicht nur in Japan, sondern in vielen Teilen der Welt.
- Probleme im Zusammenhang mit dem Bevölkerungsrückgang betreffen vor allem auch entlegene Dörfer und Siedlungen. In einigen Fällen gibt es keine ausreichende öffentliche Wasserversorgung, Wasser wird nur an einzelne Haushalte geliefert.
- Obwohl die Bevölkerung vieler Dörfer in ländlichen Gebieten zurückgeht, wird der Bau unnötiger, aufwendiger Straßen vorangetrieben, was zu Umweltbelastungen führt.
- Als einen neuen Trend kann man sehen, dass sich vermehrt Menschen auf den Inseln des Seto-Binnenmeeres niederlassen, darunter viele Künstler auch aus dem Ausland, die dort ihren kreativen Tätigkeiten nachgehen.
- Während der Edo-Zeit lag die Bevölkerungszahl Japans stabil bei rund 30 Millionen Menschen, doch in der Meiji-Zeit nahm auch in Folge des Militarismus und dessen Motto „Lasst uns mehr Kinder haben“ die Bevölkerung rasch zu.
- Tokyo sieht sich immer mehr mit Problemen der Bevölkerungszunahme konfrontiert. Schon eine Hälfte der heute ansässigen Unternehmen wären für Tokyo ausreichend. Die andere Hälfte sollte in andere Gebiete verlagert werden. Eine Maßnahme in diese Richtung wäre eine Steuererhöhung für Unternehmen in Tokyo. Das könnte für viele Unternehmen ein Anreiz dazu werden, ihren Standort aus der Stadt hinauszuverlegen.

#### **Nächste Treffen:**

Samstag, 20. Juli 2024, 14 bis 16 Uhr. Thema: Wie verbringe ich meinen Urlaub

### **7月の企画委員会開催のお知らせ**

この会は協会と会員との交流のための会です。昨年8月より会員の参加を得て、協会の事業について種々の企画をご提案いただき、協会の活動は活発化しています。

ぜひとも参加し、協会の運営や企画などにご意見をください。

日時：2024年4月13日(土)15:00~17:00

場所：神戸日独協会

話題：9月以降の事業企画、協会の発信について。

ご出席いただける方は、事務室へ電話・メールにてご連絡ください。当日参加も可。

## 会報ボランティア募集

次回の印刷と発送は7月26日(金)の予定です。ご協力をお願いします。

印刷 : キンコーズ三宮店(神戸市中央区雲井通4-2-2マークラー神戸ビル)10:30~

発送 : 神戸日独協会にて、12:00~

お手伝いいただける方は事前にご連絡ください。

## 行事等の写真について

会報では輪転機印刷のため写真等の掲載は略させていただきます。協会ホームページ及びSNSに掲載していますので、ぜひご覧ください。

 ホームページ Homepage	 インスタグラム Instagram	 X 旧 Twitter
---	---	---

## イベントスケジュール

日時	催し	会場	申込切
6月30日(日) 14:00~16:00	ハントアルバイトの会 (ポーセラーツ)	神戸日独協会	当日参加可
7月2日(火) 18:30~20:30	横浜日独協会との交流会	ロイン三宮店	7月1日(月)
7月6日(土) 13:30~15:00	ドイツ歌声サロン	神戸リガッタ倶楽部	当日参加可
7月13日(土) 15:00~17:00	企画委員会	神戸日独協会	当日参加可
7月20日(土) 14:00~16:00	ドイツ語談話室	神戸日独協会	当日参加可
7月28日(日) 14:00~16:00	ハントアルバイトの会 (ポーセラーツ)	神戸日独協会	当日参加可
8月3日(土) 17:00~19:30	ビアフェスト2024	ロイン三宮店	7月31日(水)